

深層崩壊の予測手法開発／土木研、被害回避に有効

2008/04/29 16:37

独立行政法人土木研究所(茨城県つくば市)は29日までに、大雨により岩盤から崩れ大規模な土砂災害を引き起こす恐れがある「深層崩壊」の発生を、地形図などから予測する新手法を開発した。発生場所を事前に特定できれば住民の迅速な避難などが可能になる。

深層崩壊は熊本県水俣市で2003年7月、21人が死傷した土石流を引き起こすなど、発生すると大きな被害が出る。しかし、件数が少ないため、予測はほとんどできなかった。

土木研は、地形では(1)急斜面で、雨水が広い地域から集まる場所(2)斜面の起伏など等高線にゆがみがある場所一の2つに着目した。

この2つと過去の発生の有無の3条件を、05年9月の台風14号で、宮崎市の鶴塚山周辺の溪流で発生した8カ所の深層崩壊に当てはめた。

その結果、8カ所とも最低1つの条件に該当。3条件を各地の地形に当てはめれば、深層崩壊が発生する地域を事前に把握できることが分かった。

[記事本文へ](#)

[公式サイト](#) > [関西アーバン銀行](#) ダイレクト定期預金なら来店不要で申込可 ネット上だからこの金利！詳細はこちら [www.kar](http://www.kar)  
[公式コスモウォーター](#) ウォーターサーバー天然水宅配シェア No1!レンタル無料。全国対応宅配無料 [www.cosmowater.com](http://www.cosmowater.com)  
[京都の日払いアルバイト](#) 京都祇園の日払いアルバイト 効率良くお仕事しませんか [www.career-s.net/](http://www.career-s.net/)

Ads by Google

SHIKOKU NEWS 内に掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。  
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright (C) 1997-2012 THE SHIKOKU SHIMBUN. All Rights Reserved.

購読のお申込みは  
オハヨーシコク  
**0120-084-489**  
【受付時間】 9:00～18:00